

は
が

人が集い、「ほんまうしぶりやなあー」と再会を喜び合い、健康チェックや体操、うたやゲームなどを楽しみました。

お茶を飲みながら、生活の様子をうかがうと、「お店はないけど、農協の購買車や生協が来てくれてやで助かる」「路線バスがなくなったけど、ミニバスに乗せてもらえるようになったてありがたい」とのこと。しかし、こ



「第6ブロック」とは、旧波賀町の町民体育祭で、日ノ原以北の六つの自治会をまとめた地区割りの名称でした

地域の安心につなげるように！

波賀北部・第6ブロックのつどい

3月19日(月)、鹿伏公民館で、日ノ原、音水、引原、鹿伏、戸倉、道谷の高齢者を対象にした「第6ブロックのつどい」を開催しました。「限界集落化していく地域」における「出前のお達者クラブ」です。

当日は、まだ深い雪が残るなか33

の地域の課題は深刻です。若い世代の流出、進む少子高齢化、人口減少で自治会の存続自体が問題化しているところもあります。

この事業では、地元で暮らし続けられるよう、住み慣れた地域の中での支え合い体制をつくることをめざしています。

今後、担当スタッフの戸別訪問やつどいの定期開催を行います。集うことや、顔を見ることが、地域の安心につながりますように。

(波賀支部 可藤和成)

声のおたより届けます！

朗読ボランティア「ふきのとう千種」

朗読ボランティア「ふきのとう」では毎月一回、「こんにちは！社協です!!」や「広報しそつ」を『声の広報』としてカセットテープに吹き込む活動を支部ごとに取り組んでいます。

その中でこの度、

「ふきのとう千種」の新しい取り組みとして、広報のほかに「民話」などを録音してお届けすることになりました。

2月には「千羽鶴の願い」や「おおかみがんばれ」、3月には田口辰男さん(奥西山)の詩に曲をつけた童謡「おくれボタル」などを吹き込みました。

「地域の情報やトピックスを届けるのも大事やけど、お話を録音して届けたら、聞いて下さる方も、



3月21日(水)、エーガイヤ会議室にて打合せの後、マイクを片手に録音がはじまります

私も楽しいですね」とグループ代表の竹内かやさん。

興味がある方はぜひ、社協千種支部へご連絡ください。

「ふきのとう千種」のみなさんこれからもよろしく願いします。

(千種支部 小原志のぶ)

ち
くさ